

各自治会へホース格納箱を計画的に配備 消火栓・消防ホース等の取り扱い研修を実施

海蔵地区防災会

平成29年度に、各自治会の協力を得て、地理・地形・建物情報を示した「防災カルテ図」を作成し、平成30年度には、「防災カルテ図」をもとに自治会単位で防災診断書「防災カルテ」を作成しました。そして、防災訓練の一環として「防災カルテ」について考える場を設け、話し合っていました。この話し合いの中で各自治会が危惧している事案は、災害発生時に消火栓はあっても消防活動をする消防ホース等の消火機材が無いことで、どこかで火災が発生した場合、延焼拡大して大規模な火災に発展する危険性が極めて高いということでした。

この危険性を踏まえて、各町に消防ホース等の消火機材を収納したホース格納箱を配備することを計画しました。本年度は12自治会に配備し、来年度に残りの8自治会に配備する予定です。

あわせて、円滑な消火活動ができるよう、消火栓や消防ホース等の消火機材の取り扱い研修と訓練を行うこととし、10月6日（日）に海蔵神社において各町の自主防災隊長をはじめ隊員の方々37名が参加し、消防分団・あいなし防災隊・防災会諮問機関メンバーの指導により、総勢62名で研修会を開催しました。これを受けて、12月までに各町の自治会においても取り扱い訓練を総勢681名が参加して行いました。来年度も訓練を行う予定です。

ホース格納箱（放水プレイパイプ・消防ホース
消火栓開放器具等が入っています。）



あなたの近くの消火栓はどこに？



ホース格納箱の配備計画

令和元年度配備：12自治会

西阿倉川2・4・5区、阿倉川新町、東阿倉川2区
阿倉川町、三ツ谷南・西・北区、本郷1・2区、清水町

令和2年度配備：8自治会

西阿倉川1・3区、松ヶ丘、東阿倉川1区
万古町、三ツ谷東区、末永町、野田

10月6日消防機材取り扱い研修会



各町の消防機材取り扱い訓練

